

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(117)、(150)」

2. 日時：令和4年3月7日(月) 13時35分～14時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者(※：TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、
海田主任安全審査官※、谷主任安全審査官、磯田係員、松末
技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員
中川原子力土建部長 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト
- ・ 審査資料の品質確認について
- ・ 浜岡原子力発電所 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動評価に係る
コメント回答等について
- ・ 浜岡原子力発電所 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動について
- ・ 浜岡原子力発電所 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動について
(補足説明資料①)(敷地における地震動の増幅特性)
- ・ 浜岡原子力発電所 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動について
(補足説明資料③)(地震動の顕著な増幅を考慮する地震動評価(震源モデル
及び地震動評価結果の詳細))

<<本年1月12日提出受取済み>>

- ・ 浜岡原子力発電所 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動について
(補足説明資料②)(地震動の顕著な増幅を考慮しない地震動評価(震源モデル
及び地震動評価結果の詳細))

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	成長の意識です。
0:00:06	それではヒアリングの方を始めたいと思います。
0:00:08	今日のヒアリングですが、中部電力から、浜岡原子力発電所敷地ごとに震源を特定して策定する地震動についてということ。
0:00:18	あと審査資料の品質確認についてという内容についてのヒアリングになります。それでは、
0:00:24	中部電力の方から説明をお願いいたします。
0:00:30	坂でございます。
0:00:33	本当。
0:00:34	ニシキさんからご紹介ありました通り、
0:00:39	ヒアリングを実施させていただきました。服飾発電所の敷地ごとに震源を特定して策定する地震の、
0:00:47	次にどれも、
0:00:49	資料の修正して参りましたのでご説明をさせていただきたいと思えます。窓口申請資料の物確保について説明をさせていただいて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:59	技術確認いただきそのあと自身まで、また改めて説明をさせていただくという形で進めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:01:10	それでは早速ですが、審査資料。
0:01:14	資料の修正箇所についてご説明をさせていただきます。
0:01:21	木部。
0:01:23	ご指摘をいただいて、
0:01:26	修正社会白書を今回の資料の中で、
0:01:30	さしていただいております。
0:01:34	作っていただいて、衛藤。
0:01:37	菅。
0:01:42	検査
0:01:45	なんかと、
0:01:46	表記させていただきましたね。
0:01:49	シニアスタッフと。
0:01:51	記載をさせていただいておりますが、
0:01:53	シニアであることが、条件ではなくてですね経験しつつ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:59	そうやっているということで、
0:02:02	記載の適正化させていただきました。下の方に
0:02:10	皆さん、
0:02:11	修正をさせていただきました。
0:02:16	買っていただいて、今後、
0:02:19	っす。
0:02:21	こちら少しは、
0:02:23	はっきり
0:02:28	どうぞ。
0:02:29	館野。
0:02:30	修正をしてきてございます。
0:02:33	箱書きですが、東京の方で申請資料のまとめ。
0:02:40	ことから、
0:02:41	その質をしっかりと確認しつつ、是正
0:02:44	が必要なしっかり意思をまわしていくことで、技術的科学的な内容、間違い審査会合資料の作成に努めて参るということを記載させていただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:56	併せて、下の触れ合いのところですが、
0:03:00	何かチェック③というところがありまして前回のところがチェック④。
0:03:06	記載しておりましたが、チェックさんからも矢印を追加させていただき まして技術的チェックと、
0:03:14	図ところ。
0:03:15	おきまして、審査に必要な技術の掲載運営等と議論に加えて、
0:03:21	関科学的なように間違いは、
0:03:24	先生訴訟中が、
0:03:26	必要な業務については、別紙存置プロセスに持っていくというところで す。
0:03:33	ちょっと延期させていただいております。
0:03:35	つまりが左アクセスが先ほど申し上げた、ライン外専門家という言葉の 適正化をさせていただくとともに、
0:03:44	*をB
0:03:48	が行ってございますが先生がご指摘いただいて、この辺、
0:03:54	難聴楽勝。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:57	についても、資料作成チームと、私の方で、しっかり資料作成承認プロセスの中で、
0:04:05	確認した上で資料を提出するというふうに、やっぱり、
0:04:09	そうさせていただきます。
0:04:13	最後のページですね次またそうって、等は外部公表がありましたのでこちらの方を修正させていただいております。周辺。
0:04:24	してね。
0:04:27	いただきますが、
0:04:28	今回、檀違いでしょう。疑似データの作成について、改めて発生事象究明施策について明確な結果、各部署に対する確認を含めた是正措置を、
0:04:42	実施しており、審査会合の資料の品質が確保されていることを確認しました。
0:04:49	00 違い関わる是正措置の登録を行う。
0:04:56	また、デシベル登録し、是正措置プロセスにて管理することとしました。
0:05:02	所掌体制が構築されているものと感じ
0:05:06	ます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:07	この審査資料がまとまった段階で入っていくことから、熱性処置が必要な場合はしっかりP D C Aをまわしていくことで、技術的科学的内容は違いの審査会合資料の作成に努めて、
0:05:19	入りますって形で、
0:05:22	さしていただいております。
0:05:24	修正点の説明。
0:05:32	一応認識です。説明ありがとうございます。ちょっとこちらからの確認に入ります
0:05:46	はい。規制庁佐口ですけども、幾つかというかちょっと、
0:05:51	経緯ももう1回ちょっとさ、最後に確認をさせていただきたいんですけど。
0:05:56	2ページで、2018年の5月の審査会合でいろいろ云々と書いてあって、
0:06:03	こういったいろんな体制、
0:06:08	について、この時点で整えたのか、それ以前からもあったんだけども、またさらに強化をしたのかと。
0:06:18	いうところがまず1点と。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:20	それから、発生事象でいくつか書いてあるんですけど、何かこれを見 るとす。
0:06:26	あくまでもその必要なエビデンスっていうのが、不足していて、
0:06:32	だから、要はその品質管理とか品質保証の問題じゃないようにもこれ見 えちゃうんですけど、実際には、
0:06:41	幾つかあったわけですよねそれが。
0:06:47	すごく細かいその後動きとか、
0:06:52	誤字脱字とかそうそういうのじゃなくって、
0:06:55	評価結果が、ちょっと何か、
0:06:58	違ってましたとか、
0:07:00	ていうのが多分あったと思うん
0:07:03	で、
0:07:05	そういうのっていうのはここに含まれないのかっていうのと、
0:07:09	あとその2018年の5月1日以降でいろいろあって、前回特にその会合 でコメントしたことについて、
0:07:20	幾つか挙げていて、例えば反射法、
0:07:24	探査結果の配置替えとかそういうのも含めてなんですけどね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:28	ただ、その前に、
0:07:33	一番、
0:07:36	大きな問題として、地質のところ、
0:07:40	要は敷地内の断層のところ、いろいろ、
0:07:45	ちょっとここ、前から変わってるよねとか、
0:07:49	何かちょっとおかしくないっていうのがあって、改めていろんな確認を していただいて、
0:07:54	何で違ったのかとかって要因分析なんかもしていただいて、
0:07:59	その中には当然、
0:08:02	記載とか修正漏れっていうものから、あと、
0:08:06	断層位置の選定の誤りとか、そういう誤りの部分もあったと思うんです けど。
0:08:12	そういうのって、
0:08:14	今ってどう、どう位置付けてらっしゃいます。ちょっとそこを教えてください。 ださい。
0:08:24	中部電力幅野でございます。衛藤。
0:08:26	一番最初に阪井話し合ってるところで 208 年。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:33	9月の断片でご報告させていただいた。
0:08:40	それは足りてないんですよという規制庁さんの方です。
0:08:45	提出した資料をチェックしていく中で、武藤社名ん中身を確認するために必要な人数が不足していると。
0:08:54	ご協力で、
0:08:56	はい。
0:08:58	資料作成のトーク設定したところの時にやりましたのであれば、
0:09:03	当審査チームだけで作っていてそれをここで一つツカゲチーム間違いがないかと。
0:09:12	チェックをしていたんですけど、それに、
0:09:16	評価をするのに足りているかという観点でここも、
0:09:20	との対応をさせていただきます。
0:09:26	そのあと、
0:09:28	大きいみたいな、
0:09:31	軸に申し上げながら修正をしております、あと、今回整理させていただいているのが、
0:09:42	3ページに記載をさせていただいている通りで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:46	ここに終礼の差に、違う市場です。
0:09:52	間違うと、橋田さん。
0:09:55	違うと。
0:09:57	添付ついて、
0:10:02	基本的には今、三国委員の通りですね、してしまっている中ですね。
0:10:09	あるべき。
0:10:11	選べるんですね。間違えたと。
0:10:13	河瀬稲葉のあるところから、べきでないというところで、
0:10:18	しっかり最終メーター。
0:10:23	作成することで、
0:10:26	しましたと。
0:10:27	いうところで申し上げます。
0:10:31	一方、
0:10:32	言ってください。
0:10:34	地質の方で間違いがありましたと。
0:10:39	やっぱり、一番そう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:41	柱状図で 2.98%の観察結果で見ているかといったところについては、一括して備品の説明を繰り返させていただいたということ。
0:10:54	そこで、
0:10:55	すべてをチェックし直してますんで、
0:10:59	それ以降、そういう事象が発生してないと、いうことになっております。
0:11:05	ちょっとすいませんその時期、
0:11:09	調べますので、
0:11:11	そこは
0:11:14	についてお知らせですがそちらについては、もうすでにその時、
0:11:18	沖野さんの通りてますと。
0:11:21	位置付けね国へ。
0:11:24	これでは記載していないという形にしております。
0:11:31	はい。佐口です。1 時期っていうお話が出ましたけど、これ 2019 年の 4 月の会合で、ちょっとおかしいんじゃないんですかよくわかりませんという。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:42	ものに対して、その回答として、こういった要因でちょっと違ってまし たとか、
0:11:48	そういうのが、
0:11:50	おんなじ 2019 年の 12 月。
0:11:52	2、一応ご報告あったと。
0:11:55	ということなので、その前後関係。
0:11:59	多分、
0:12:01	の体制が、
0:12:03	強化。
0:12:05	される。
0:12:06	前といえば前のもの。
0:12:09	なんですけど、その最中といえばその最中と言ってもいいかな。ちょっ とその辺の前後関係がちょっとよくわからないのと、結局そうそうい う、こういうものがあったというその前後関係も含めてどういう位置付 けなのかなと思ってちょっと確認を。
0:12:25	させていただいたんですけど。
0:12:27	いずれにしてもその、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:29	基地内については報告が受けたということのももちろんそれは事実なので、
0:12:37	そういう報告がありましたということは我々承知当然してますけれども、
0:12:42	今回のその、
0:12:43	品質、確認の体制の改善のところに、地質の、これ結構大きな問題だっ たと思うんですけど、どの位置に入ってくるのかなと。
0:12:55	いうところと、全くそれ、今書かれてないんですけどやっぱりこれも、
0:13:00	一つ大きな問題として、ちょっと
0:13:04	どこかどこかあり、
0:13:07	その他こういうこともありましたとかそういうことはですね、ちゃんと
0:13:13	入れていただいていた方がいいかなと。それも踏まえて、少なくとも今 改善をして、
0:13:20	ちゃんと今後はきちんとですね、
0:13:24	それに基づいて、
0:13:28	ちゃんとやっていくという説明かなと思ったんですけど。
0:13:32	ちょっと確認をさせていただきました。
0:13:37	ちなみに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:39	承知いたしました。
0:13:42	中部
0:13:43	一つ間違えると後は、
0:13:47	てるかっていう。
0:13:50	後んところ、
0:13:53	それあります。
0:13:57	そう。だから、再々、
0:14:01	衛藤。
0:14:03	あんペクション
0:14:08	そこも含めて、
0:14:09	しっかりと是正処置をとった。
0:14:12	資料作成承認プロセスの中で行っていると。
0:14:17	ことなんですけどちょっとそこは、福井の例。
0:14:20	3 ページ。もう、
0:14:22	岡嶋に生活するかして、いずれにして、過去、
0:14:26	事象報告してますが、今回改めて支援を登録してしっかりとしたプロセスの中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:34	資料に品質具分析化学的な間違い別紙資料を作成していくと。
0:14:42	うん。わかるようにちょっと事例を見込みたいと思います。
0:14:47	はい。規制庁サグチですじゃあ、よろしく願いいたします。
0:15:00	規制庁谷ですけど、ちょっとですね、天野さんの声がすごく割れて聞こえてて、途中途切れるような感じもあってですね、他のマイクで、ちょっと別の方1回話してもらっていいですか。
0:15:17	次は全部イワセます。これぐらいだと大丈夫でしょうと。
0:15:23	うん。
0:15:24	規制庁ですけどちょっとそれも割れてるように聞こえてて、うちの声は、まともにいつも通り聞こえてますか。
0:15:38	何かいつもと違う設定とかってされてます。そんなこともないですか。
0:15:55	あと海田さんの方とかはよく聞こえてるんですか。
0:15:58	確認させてください。
0:16:01	はい。
0:16:02	聞こえますか。
0:16:04	まず。はい。聞こえます。
0:16:06	私の声はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:11	製造の方の声はクリアに聞こえてるんですけど。
0:16:14	やっぱり中部電力の声、
0:16:17	お二方とも結構割れて、
0:16:21	いない状態で、
0:16:25	すいません、ベースを、
0:16:29	聞きたいんですかね。
0:16:31	はい。大分言われて聞こえてますね。
0:16:35	そうですか。はい。
0:16:39	割れてるプラス、なんか時々江南なんていうんすかねこう聞こえなくなるようなときがあって、
0:16:47	いつもそんなことないんですけどね。
0:16:52	1回ちょっと。
0:16:54	止めて設定し直しますか。
0:16:57	はい。もし可能であれば、1回切って碎屑物させていただきたいなと思います。はい。1回ちょっと調整の間待っときますので、よろしく願いします。はい。お願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:15	あとちなみに東京支社伊東さんですかね。伊藤さんの方は、声出してもらっていいですか。
0:17:21	はい、伊藤です。
0:17:24	こちら終電の本店の方の声がちょっと割れていたんですが皆さん進行していたのでそのまま置いてるのかなと思ってましたが、
0:17:31	はいはいはい。伊藤さんの声がこっち良く聞こえてますので多分、本店の方の。
0:17:37	設定か何かかなと思いますのでちょっと待ちます。
0:17:41	そうですね。はい。
0:19:31	木村の鎌野です。いかがでしょうか。
0:19:34	あんまり変わらないですか。
0:19:38	まだ割れていますかこれは。
0:19:50	これですか。
0:19:57	規制庁ニシキです。先ほどよりは
0:20:01	接続テストの時ぐらいの温室になってますので、いけそうなので、もしまた途中で割れたりするにしたらこちらから声かけさせていただきますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:11	まずは説明をお願い、お願いいたします。
0:20:14	はい。お願いします。
0:20:16	次の地震度によろしいでしょうか。
0:20:23	はい。お願いします。
0:20:25	はい。
0:20:29	中部電力の石川です。よろしくお願いいたします。
0:20:34	資料の方は特定してに関わるコメント回答と、
0:20:39	等を特定せず本編。
0:20:41	と補足の 0103 を用意しております。
0:20:45	補足の②の方については前回から変更ありません。
0:20:50	と修正点につきましては表で、多く提出させていただいておりますけども、あと順番に説明
0:20:57	していきます。
0:20:59	まず、コメント回答資料の方から、変更点を説明していきます。
0:21:06	変更点の一つ目はコメント回答と資料の 75 ページになります。
0:21:20	こちら、代替の距離減衰式による適用範囲外の地震動評価結果を、参考で示しているページですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:28	前回のコメントを踏まえまして、箱書きの記載を修正しております。
0:21:34	具体的には、前回ヒアリング資料では、参考として示している地震動の結果について言及しておりましたけども、
0:21:42	そもそも適用範囲外のを、
0:21:45	評価結果ですので、そちらの方は削除いたしまして、
0:21:49	2行目から記載していますように、適用範囲外となるため、参考として評価結果を下図に示すが、特定しての評価ケースとはしないとしまして、
0:21:59	結論である評価ケースとしないということが、よりわかりやすくなるように記載を修正いたしました。
0:22:07	同様に 86 ページの方も修正を行っております。
0:22:14	こちらは F M A C C S の 13.5 H z、Q 値を従来の 100 f 0.7 条のままとしたケースの評価結果を参考で示しているページですが、
0:22:25	同様にしまして結論である、評価結果と、評価ケースとしないということが、よりわかりやすくなるように記載を修正しました。
0:22:36	変更前の二つ目は 209 ページからになります。
0:22:48	こちらは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:51	御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震の地震動評価に係るコメント回答の最後の部分になります。
0:22:59	もともと 4.1 において、かよプレート内地震の増幅なしの検討地震としては、
0:23:06	敷地下方の想定スラブ内地震と、御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震を選定し、
0:23:13	増幅については、顕著な増幅が見られる周期体において地震動レベルが大きい、敷地下方の想定スラブないし
0:23:20	代表するというか
0:23:24	この説明については変更ありませんけども、前回のヒアリングでの※
0:23:28	で、
0:23:29	蔵狩野検討地震の選定については、4.3 節に移動しまして、
0:23:36	めくっていただいて 211 ページと 212 ページに、顕著な増幅が見られる周期体において、スラブ内地震の地震動レベルが大きく、大きいことを示す根拠として、
0:23:47	不確かさモデルも含めた評価結果の比較を追加しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:53	グラフは 211 ページが応答スペクトル法で 212 ページが断層モデル法で青がスラブ内で、赤が沈み込む海洋プレート内地震になっています。
0:24:07	変更前の三つ目は 213、213 ページからのプレート境界の形状に関する知見についてです。
0:24:18	前回、ベッセツ阻止別冊として用意しました、松原 S R 2021 の、プレート境界に関するコメント回答資料をこのコメント回答資料等の 5 章としてこちらに合体しています。
0:24:32	もちろん 118 ページに示す、松原と内閣府の平面的な比較は前回お示した通りでございますが、
0:24:42	前回ヒアリングでのコメントを踏まえまして、219 ページに、断面の比較を追加しています。
0:24:49	こちら図は、敷地直下に東海 S M G A 01 を配置した、増幅なしの直下ケースの 2 ケースと、増加割の直下ケース 1 ケースを対象にしております、
0:25:02	それぞれ
0:25:05	緑で示す、二つの 1、一つは東海清宮 01 を通る沈み込み方向の断面の位置と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:13	もう一つは、トラフ軸に概ね平行で、各モデルの東海線氏家マルチを共通で通り、敷地直下の断層最短、
0:25:22	これらの市における、松原の例協会と、
0:25:27	内閣府の強震断層モデルの男性。
0:25:30	断面比較図を示しております。
0:25:35	断面図の凡例についてはピンクが松原のプレート境界で、黒が内閣府の強震断層モデルのSMGAでは色が背景領域になっております。
0:25:46	これについては、箱書きに記載しております通り、医師会支配的な東海清宮①を配置した敷地直下及びその周辺に着目した断面比較によると、
0:25:59	敷地からやや離れた、松原が推定結果として示している南端のところ で、違いが見られるものの、
0:26:05	地震動評価に影響が大きい意識次長課を中心に、両者は概ね整合したも のとなっております。
0:26:13	また、副長会のSMGAの影響という観点で、試算としまして、
0:26:19	松原のプレート境界に基づく場合の東海Mj01の断層最短距離と等価震 源距離のハウ酸水算出いたしまして、
0:26:28	内閣に基づく場合、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:30	表で示しておりますが、両者は概ね同等となっています。
0:26:37	以上からピンクで示す結論、こちらは前回と変わりませんが、新たな試験を踏まえても、内閣モデルは適切なモデルであることを確認したと。
0:26:45	しております。
0:26:48	コメント回答等についての説明は以上です。
0:26:53	続いて、
0:26:54	本編の方の説明に移ってもよろしいでしょうか。
0:27:03	はい。
0:27:04	はいどうぞ。
0:27:06	承知しました。
0:27:08	では本編資料の方の変更点を説明していきます。
0:27:13	まず、前回ヒアリングのコメントになりました、海底試掘トンネルの地震計設置位置におけるS波速度の根拠につきまして、
0:27:24	本編の40ページに、
0:27:28	なりますけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:35	こちらの右下に海底試掘トンネルで実施したP S 検層結果の方を追加しております。
0:27:43	またこのページで登場する鉛直アレイ観測点と、大深度観測点につきましても、この地震計設置位置における速度がわかるようにということで、
0:27:53	資料の方補足に
0:27:56	掲載をしております。
0:27:59	具体的には、
0:28:03	資料飛びますけども補足説明資料①の、
0:28:08	4 ページ。
0:28:13	になりますが、
0:28:15	こちらに鉛直アレイ観測点、の深さ方向の図示しておりまして、そこで速度がわかるように、
0:28:23	各号炉で実施したP S 検層の結果を横に並べて掲載するようにしました。
0:28:31	または、大深度観測点につきましては、こちらも補足説明資料①になりますが、①の 174 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:44	こちらに大深度観測点が登場しますので、ここで実施したP S 検層結果等を地震計設置位置の深さがわかる資料を追加しております。
0:28:57	ここでちょうど開いていただいているページの周辺というのが、統計的グリーン関数法で用いる1次元地下構造モデルの検証として、大深度観測点での地盤モデルを設置している箇所になります。
0:29:09	設定している地盤モデルについては175ページで、伝達関数は176ページに示す通りで、
0:29:17	こちらは従来から説明する通りでございます。
0:29:21	鉛直動の地盤モデルについては、177ページの箱書きに記載しております通り、最適化解析をより安定化させるために二段階で
0:29:32	この辺りのプロセスがきちんとわかるように、今回177ページと178ページの方に、資料を充実させることにしました。
0:29:44	資料本編の方に戻っていただきまして、
0:29:48	前回ヒアリングから、特定してのまとめ資料として記載すべき内容を、さらに確認いたしまして、
0:29:55	四つ資料を追加しております。
0:30:00	一つ目は、本編の214ページになりますけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:10	こちらプレート間地震の被害地震についてになります。もともと被害地震については、資料を示しておりましたけども、
0:30:19	同じ新タイプのところでは掲載しておりました震度5弱程度以上となった地震の表現の表というのが、こちらにありませんでしたので、
0:30:27	表を追加しております。
0:30:31	二つ目は、228 ページ。
0:30:35	ですけども。
0:30:42	こちらのプレート間地震の基本震源モデルの設定から、不確かさの考慮を不確かさの組み合わせまでを
0:30:50	1枚にまとめたページで、
0:30:52	その中で右上に示す通り、影響確認モデルというものを設定して、このプレート境界浅部や分岐断層が強震動励起特性に及ぼす、
0:31:02	各
0:31:02	と、
0:31:03	しておりますが、
0:31:05	こちらポイントになるものですけども、その確認結果が本編中にありませんでしたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:10	今回別冊 234 ページ。
0:31:14	の方に、
0:31:16	その確認を行った事例の方を追加しております。
0:31:23	三つ目については 235 ページで、
0:31:27	こちらのプレート間地震ですけども、
0:31:29	東海M j 01 を敷地直下に配置する、強震動生成域の位置の不確かさを考慮した震源モデルについて説明していると。
0:31:38	ですが、
0:31:39	この東海攻め事例①が主、敷地の地震動に支配的であると
0:31:46	確認結果が本編中に
0:31:48	もね。
0:31:50	36 ページに、
0:31:51	評価を行った事例として、が、
0:31:54	確認した事例の方を、を追加いたしました。
0:32:01	四つめは、
0:32:03	飛んで 576 ページからになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:18	こちら、増加ありの海洋プレート内地震の人道評価の結果について、増幅方向にする背景領域にも増幅係数を乗じる地震動評価を行うことを説明している箇所です。
0:32:31	そのような評価を行う前提といたしまして、576 ページの上段発行ガッキーの矢印の下に記載しております通り、
0:32:39	地震動評価結果に考慮された保守性の確認と、
0:32:43	増幅方向にする背景領域の小断層による影響の確認というものを行っており、
0:32:49	ポイントになるものですが、こちらについてのお言葉では記載しておりますが、
0:32:54	実際の結果はございませんでしたので、
0:32:57	577 ページ以降に関連する資料を追加しております。
0:33:06	あと地震規模の記載についてですけれどもMWm J が混在するといったコメントがありましたので、対応しております。
0:33:18	例えば、
0:33:19	本編の 299 ページであったり、
0:33:24	30 ページの左のフロー図になりますけれども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:29	こちらのMw m Jとして検討している箇所につきましては、その旨追記するようにし、
0:33:37	しております。
0:33:39	また、
0:33:41	本で 365 ページ。
0:33:44	けども、
0:33:45	こちらは御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震の、
0:33:50	基本震源モデルの設定のページになりますが、
0:33:54	この左の箱書きのうち、地震規模について、このM j とMwを使い分けて、記載しているところについては、
0:34:02	M7.4 というものが、気象庁場面中であることを明記するようにしております。
0:34:09	その他参照資料の記載と、細かな修正をしておりますが細かいことについては提出いたしましたリストの方で
0:34:18	確認ください。
0:34:21	説明は以上になります。
0:34:26	規制庁ニシキです。説明ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:29	それでは確認の方に移ります。
0:35:03	はい。規制庁佐口ですけども、多分もう、
0:35:09	次回、次回というか、多分ヒアリングはもうなくなっていて、ある程度修正とか追記とかはあるかもしれないんですけど、多分このまま多分会合に行くと思いますので、ちょっと細かいところも含めて、
0:35:23	幾つか確認を。
0:35:24	させていただきたいと。
0:35:26	思います。
0:35:27	で、まずコメント回答資料のですね。
0:35:35	75 ページで、今回
0:35:38	こういう理由で、
0:35:40	この距離減衰式は適用範囲外になるので、
0:35:46	評価ケースとはしないということを書かれていると思うんですけど。
0:35:50	そうするとですね、地震動評価結果っていうと何かこれも評価結果の一つってかなっちゃうかもしれないですけど、あくまでも参考であれば
0:36:02	参考みたいな形で、文言では今書いてあるんですけどね。表題として何か参考っていうのも一つ手かなと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:11	思った次第というのと、
0:36:15	あくまでもこの適用範囲外っていうのは、
0:36:19	各、
0:36:20	距離減衰式の
0:36:23	何ていうんすかね。
0:36:24	適用範囲度よりむしろ検討対象ケースの範囲外っていうこと。
0:36:30	イコール、
0:36:31	で考えて、
0:36:33	るという理解でよろしいですか。
0:36:42	中でございます。1点目の地震動評価結果の参考というタイトル付けについては、
0:36:48	我々その方がいいと思いましたので廃止をさせていただきます。
0:36:51	もう一つ距離減衰式のほとんど距離減衰式で検討対象外なのかというご指摘だったと思うんですけど。
0:37:01	その通りだと思いますけど、ただ地震、震源近い、観測点から震源までの距離が非常に近い地震というものは、やはり対象が検討対象外とかそういう地震が起こっていないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:13	いうところで、そのあとの検討対象外になっているというふうに理解しております。
0:37:20	はい。規制庁佐口です。細かいことなんですが、つまりその検討対象外と、要はそんな年の大統領でもありますよね。
0:37:29	いわゆる検討したものと、
0:37:33	それから、
0:37:34	その評価の適用の範囲の、
0:37:38	話とちょっと何かごっちゃになってるのかそれとももうイコールなのか。
0:37:44	ちょっとその辺りが、
0:37:46	ちょっとよくわからなかったので、
0:37:48	ちょっとお聞きした次第なんですけど、なので基本的には、
0:37:53	距離が近い地下すぎるので、この距離減衰水って言うのものに対してなので、当然その検討形態ショーケース。
0:38:04	から、大きく外れている。
0:38:07	から、適用範囲外ですという、
0:38:11	御社はそういう判断をしたと、そういう理解でいいんですよね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:20	鉛直 10 分等でございます。
0:38:24	全部我々としては同じような意味ですいませんとられてまして、例えば、
0:38:29	73 年の 74 でも、どうでもいいんですけれども、これ自身がもし磯部リポート最初にできてなくても、その減衰式のデータベースの範囲内で補正範囲にあれば、そういったものを使っていきますよとか、
0:38:44	そういう判断になるかなと思っています。年齢等に関しましては、フィリピン地震ということであまりそのデータベース内に収まっているので、しっかりその中で評価に使っていけるだろうと。ただ今回に関しましてはそのデータ
0:38:59	ですし、そもそもこういった、より震源の近い人で残っていないというところに点から水しても使えないというふうな判断をさせていただいております。
0:39:11	はい。サグチですわかりました。なのでそういったちょっと判断っていうのはきちんと 75 ページとかには書いていただきたいと思います。
0:39:20	あと、ちょっと細かいことなんですけどその前の 71 ページで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:27	以前ちょっとコメントをしたことに対してのことかもしれないんですけど、野田徹。
0:39:35	の方法 2 と同様な領域区分とした場合っていうので、
0:39:39	駿河湾プラス東海 1 かそれあとプラスアルファとかってありますけど、このMwって、いわゆるその一般的な、
0:39:49	また
0:39:51	金森式とかって言われるようなそうそういうのをしているんだとは思いますが、今ちょっとそこが見えないので、こうやってこのMwってどうやって出したかっていうのは、
0:40:03	何かわかるようにはしていただきたいと思います。
0:40:10	町民力民宿です。
0:40:12	基本的にはネット株式で求めて、
0:40:16	政策提案記載をしたので、
0:40:22	はい。もう 1 個引き続きなんですけど、86 ページで今回記載変えられたと、前は、
0:40:30	前回のあくまでヒアリングですねヒアリングの資料は、
0:40:35	これは評価をした上で、あくまでも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:38	うん。
0:40:40	申請時のS sと比較してっていう話だったんですけど、もう今回はそういう比較も一切せずに、
0:40:49	観測記録。
0:40:51	との返りが大きいため、もうこれは対象としませんと。
0:40:57	いう。
0:40:58	ふうに、ちょっと考え方を換えられたのかそれとも考え方は実は前回も同じだったんですけど。
0:41:05	あくまでも表現として、ちょっと今こういう形に換えられたのかっていう、ちょっと教えてください。
0:41:15	柘植麻生です。前回もS sと比較していたところはあくまでも三方。
0:41:24	いう流れの中でのこういった参考になったケースのS sとの関係を示した方がいいだろうということで示しておりましたので、
0:41:36	については、
0:41:38	評価係数対象外という判断そのものは我々としては変わっておりません。その対象外とした後、ここもどういう説明をするかといったところを前回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:49	S sとの比較を示していましたが、ちょっとお示ししていることで、この対象としないということが、逆にわかりにくくなっているの で、今回はそこはシンプルに、
0:42:01	評価ケースの対象としないということを、はっきりと明記するという形 にさせていただいたというものです。説明は以上です。
0:42:10	はい。規制庁田内です。そうすると今のご説明だと前回から考えは少な くとも考えて変わってなくて、ちょっとその表、表現ぶりだけよく
0:42:20	さらにわかりやすいような形で、記載を適正化というのか、説明をわか りやすくされたということなんですけど、そうすると、
0:42:30	その理由、要は
0:42:34	評価をしないという理由としてはもうここに書かれている、先ほど私も 申しあげましたけど、観測記録と、
0:42:42	乖離する。
0:42:43	ていうのが、
0:42:44	一番大きな、
0:42:46	その要因というのが、この評価をしないことにあたって、その理由とな っているという理解でよろしいんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:57	15年の奥田野瀬です。今佐口さん言われた通り観測記録と合わない計算になるので、
0:43:05	評価対象強制しないという考え方でございます。
0:43:09	はい。規制庁佐口です。わかりました。そうすると、あとはですね、その観測記録って何かって言うと、これに09へ。
0:43:19	2009年の駿河湾の地震で、
0:43:22	いわゆるこれスラブ内地震であってこのプレート間地震とは違うんですけど、
0:43:27	何かP R Aプレート間地震と、それからそれすらもない地震でも同じように、考えていいんだとか。
0:43:33	そういう、あくまでも敷地の観測記録の、
0:43:38	話にもなるんですけど。
0:43:40	その上で、
0:43:43	あくまでも、
0:43:44	スラブ内地震。
0:43:47	の観測記録との乖離が、
0:43:51	大きいから。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:52	ていうのを理由にしている。
0:43:55	ことの妥当性じゃないんですけど、これって何か例えば、
0:43:59	どっかに
0:44:00	同じように考えていいんだよみたいなそういうのって、どっかにあったりしたり、
0:44:06	したんでしたっけ。
0:44:22	中部電力の岩瀬ですこれももとの、コメントいただいた趣旨が、レシピが、今日F M A C C Sが13件。
0:44:32	フェーズ 2、
0:44:34	なっていて、その影響をどう考えるんだっていう形で回答させていただいてるんですけども、今レシピの中では概要、
0:44:43	スラブ内地震等をプレート間地震も含めて両方とも、標準的にはF M A C C S 13.5H z と。
0:44:51	いうことをされていまして、そこの関連も考えながらこれ、100%ど ういう検証するのがいいかっていうことはなかなか難しいんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:01	認識で両方とも 13.5Hz とされている中で、我々内閣府のモデルは 6Hz でやられているということとのバランスで、我々はどうしたらいいだろうと。
0:45:12	いうことをこういった形で検証しておりますので、プレート間地震等からプレート内地震についてはこの駿河湾地震で今できることとして十分な検証ができていると、そのように考えてございます。
0:45:26	はい。規制庁佐口です。なので、阿蘇、そういうことも含めて、なぜ
0:45:32	プレート間地震の、この FMACS を検討する時に、スラブ内地震である。
0:45:41	2009 年の駿河湾地震を使って、
0:45:44	検証することでその妥当性がちゃんと確認できていますよということですね、先ほどレシピというお話ありましたが、そういうことはですね少し補足数をするなりしてですね。
0:45:56	説明性を上げていただきたいと思います。
0:46:01	中部電力成松です正直言いましては少し説明が足りないということだと思いますんで都築させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:10	はい、規制庁サグチです。あとコメント回答資料の最後のところになりますけど。
0:46:17	219 ページで前回のヒアリングで、
0:46:22	できればそういった断面があれば、わかりやすいということで今回断面と、
0:46:27	それから、
0:46:29	震源距離ですね、等価震源距離であったり、
0:46:33	最短距離断層最短距離だとか、
0:46:38	ずいきというのか、記載していただいたんですけど。
0:46:42	この距離だけ見てしまうと、正直言うとこの松原達の方がちょっと、ちょっとだけ近いわけなんですけど。
0:46:51	そういう中でですね。
0:46:54	御社としては少なくとも、ほぼほぼ同じなので、
0:46:59	今のモデル地震動評価で使ってるモデルっていう、何かこの 2012 のモデルなんですけど。
0:47:06	これが適切なもんだから、
0:47:08	ということも確認したということなんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:11	ちょっとその、
0:47:13	それ以前に、少しですねこの、
0:47:16	お聞きしたいのは、松原徹という知見そのものについて、御社はどうい うものだというふうに位置付けて、
0:47:26	るのかというのをちょっとお聞きしたいんですね。具体的に言うと、
0:47:31	やっぱりこれ
0:47:33	反映させるべき知見なのか。
0:47:36	それともまだ、あくまでもこれは、一つの研究成果が1件であって、
0:47:42	またそのいろんな、
0:47:46	検討なんかをした上で、反映させるべきものなのかとか、
0:47:51	そういうちょっと、今どういう位置付けでいるかっていうのを教えてい ただきたいんですけど。
0:48:00	中部電力の岩瀬です。松原の知見に関しましては、この松原さんが検討 されている。
0:48:08	東海地域というところをターゲットにこの獲られている記録の範囲で出 された研究成果としては一つ、完結した。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:19	<p>完結した解析結果が出されているものと受けとめていますが、我々やるのは、そういったものではなくて内閣府がやられてるように、地震動評価とか津波評価をするときに、</p>
0:48:32	<p>どういったプレート境界のモデルを使うかという地点から見ると、この地形についてはまだひとつの地形研究成果として出てきたもので、</p>
0:48:43	<p>これ他の地域とかもありますけれども、これどこでしたっけ、217 ページに今回、そういった意味もありまして載せておりますけれども、実際にプレート境界、</p>
0:48:57	<p>作る時には、こういった形で、内閣府がやられているように、地下構造調査とかで、見ているものとか他の知見を踏まえて最終的には総合的に、</p>
0:49:07	<p>判断されるものと思っております、松原の知見新しく出た一つの大切な知見だと思っておりますけれども、最終的には内閣府とかそういった形で総合的に判断するときの一つの情報にはなるけれども、</p>
0:49:22	<p>この松原そのものの施設で新しい知見として、影響。</p>
0:49:29	<p>これをすぐ反映しなきゃいけないとか、そういったもののまでの知見に至ってるものではないと思っております。その中で、今回松原というの</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	を、敷地への影響とインパクトという言葉も出ておりましたので、そういった形で見ていただくと。
0:49:44	それほど大きな、いずれにしてもそういう大きな影響を与えるような知見ではないということを確認させていただいたと、そういうふうに形でこういった資料を付けさしていただいております。以上です。
0:49:58	はい。規制庁佐口です。考え方はわかりました。ただいまその資料っていうのは今言われたようなことって、あんまり実は書かれてなくて檀担当
0:50:08	コメントがあったのでそれに対応した形で、松原達っていうのはどういうものか。
0:50:15	ていうのと、実際に今その地震動評価で用いているモデルはこういうものだっていうようなことのみが書かれているんですけど、ちょっとその辺りをですね、先ほどご説明あったような、
0:50:28	形も少し、
0:50:30	わかるというのか。
0:50:33	ちょっと考え方も含めてですね、少しですね、
0:50:38	最初のところで構わないので、なのでこういう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:42	あくまでも影響っていうのを見るような形で、今はやっていますよというような、
0:50:48	わかるような形にしていきたいと思います。
0:50:54	能勢です。承知しました記載がはっきりするのは、評価をしたかということがはっきりするように記載を追加したいと思います。
0:51:05	はい、規制庁サグチです。じゃあその点はよろしくお願いいたします。 あと次に本編の方に行ってください、本文の方はもう、もう細かいことは言いませんけど、1点だけです。
0:51:20	これ結局最終的なまとめ資料的なものになるという観点で、
0:51:27	前回の会合で
0:51:30	敷地ごとに、
0:51:32	震源を特定して策定する地震動とかの検討用地震の選定だったりそういうのが、どう、どういう
0:51:39	流れでやっているのかとか、そういうのがわかるように、ちゃんと
0:51:44	フローなりよう、
0:51:46	つけるとかですね、全体像がわかるようになっていうお話をさせていただいたと思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:52	そういう観点でも、もっかい見たときに、
0:51:57	地震動評価の方は拡充というか、データ、データというのが資料かな。 資料が
0:52:04	充実化されたんですけど。
0:52:06	いわゆるその敷地における、
0:52:09	地震動の
0:52:11	振動特性とか増幅特性とか、
0:52:13	いうものから一連の地下構造の設定ですねこれは先行サイトとか見てい ただけでわかると思うんですけど。
0:52:22	何か本当に一括したのって、多分、
0:52:26	ないのかなと思って、例えばその 45 ページだったら、敷地周辺の地下 構造っていうのは、こういうものやりました。あと、
0:52:36	敷地近傍の地下構造はこういうのをやりましたとかって、
0:52:39	あたりして、87 ページですかね。
0:52:45	ていう増幅地盤増幅特性はこういう検討結果からこういう形で、
0:52:52	増幅特性を評価しましたみたいのがあるんですけど。
0:52:56	何かそのもっと前段というか本当に全部の全体像。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:02	ていうの何かどっか1枚ですね、これは先行サイト見ていただければわかると思うんですけど、どういう調査をやって、
0:53:08	どういうふうに最終的にモデルを設定していくか、っていうような、その流れがわかるような、
0:53:16	もうちょっと1枚どこかに入れていただきたいんですけど。
0:53:23	別置
0:53:23	渡瀬です。今回まとめという形で何ページ。
0:53:29	地下構造のまとめを作りまして126ページ以降に、
0:53:34	ちょっと、そういった形で、これだけ見れば全体像が見えるという形を極力考えてみたんですけども、こういったまとめを書くところにそもそもどういった調査の全体像情報の全体像があってこのまとめがされているのかがわかるように、
0:53:52	1枚か何か追加するようにとそういう趣旨ということでよろしいでしょうか。
0:53:58	はい規制庁サグチですその通りで、一番最初でいいので地下構造調査。
0:54:04	とか、地下構造調査から、
0:54:08	モデルの設定地下構造モデルの設定ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:11	というのを、1枚本当に大枠、全体像が見えるものを一番最初に入れて いただきたいという趣旨です。
0:54:23	町民力は瀬野荘司氏でした。
0:54:26	うん。
0:54:28	まとめるところではなく、一番最初の先頭の方がわかりやすいというそ ういう趣旨。
0:54:35	ですか。
0:54:37	はい規制庁昨日そうですねできれば先頭まとめでもいいんでも先頭に、 まずどういう調査をやっているのかという全体概要ですね。
0:54:47	当然調査だけじゃなくて敷地の内ではその地震の地震観測をしてそっか らいろんな観測の記録の分析とかもされているわけで。
0:54:58	ちょっとそこはですね、先行サイト、
0:55:02	見ていただければわかると思います最初に多分そういうのがバーンとこ う出てきてると思います。どこのサイトでも大体ですね。
0:55:09	なのでちょっとそこを3、参考にですね、1枚。
0:55:12	本当に概略で結構ですので、そういうのを1枚つけていただきたいとい う趣旨です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:19	中部電力の岩瀬です。承知しました。記載して、資料を追加するようにします。
0:56:01	規制庁内藤ですけども、ちょっと基本的なところちょっと教えてください。えっとね。
0:56:08	なんで浜岡って、
0:56:10	周期 20 秒まで設定してるんですけど。
0:56:16	取れてる地震動としては 5 秒。
0:56:18	までじゃないんだっけ。
0:56:21	ただ地震動を設定するにあたっては、何か考え方も特に何も書いてないんだけど、長周期が 20 秒まで設定する形で設定してるんだけど。
0:56:31	中部電力としては、これ何で 20 秒まで設定し、していたんですけど。
0:56:43	ちなみに、
0:56:44	長谷です。計算をしているときに、20 名で決算を考えてお示しておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:55	を踏まえて、基準地震動として何秒までにするかとかそういったのは次の議論だと考えて資料を作成しておりますが、そういった回答でよろしかったでしょう。
0:57:05	おわかりいただけますでしょうか。
0:57:30	既設のです。じゃ、長周期側は計算上は 20 分までやってるので載けてますっていう数扱いですか。
0:57:39	はい BMR 考えて計算したので、地震動評価としてはそれを書きましたが、基準地震動として何秒まで評価をするかっていうのは、このあと基準地震動のところの部分になるかというふうに考えてました。
0:58:00	逆に言うとね計算 20 秒までやるんだけど、短周期側はコンマ 02 秒で止めてるのはなんで。
0:58:10	計算しようとはできるわけだけど、今後の 02 止めてるわけで。
0:58:19	っす。
0:58:21	基本的には 0.02 秒場で、
0:58:26	もともと 50Hz 以上の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:28	周期を見るのがそもそも難しいということはあると思いますけれども、 0.02 秒までの評価をするので、そこはマストとして、長周期側はもう当然、
0:58:40	5 秒までは必ず評価をするので、マストなんです、と考えてるんですけども我々グローバル
0:58:48	と中周期が大きいもの
0:58:50	あるので、施設、
0:58:52	ノーカーデーそこをターゲットとするかどうかは別として、地震動としては減り少し長いところに含めて評価をさせていただいてお示ししてまして、
0:59:03	それを、当基準地震動、施設評価をする時の、
0:59:08	設計地震動としてどうとらえるかっていうところについてはその次の段階だというような整理で考えておりました。
0:59:57	規制庁ないです。中部電力としてどういう考えで計算したのかわかりました。
1:01:21	規制庁ニシキです。
1:01:22	こちらから確認させていただきたかった点について大体出た感じですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:28	実際ちょっとこの資料についてご説明いただくときに、二つは品質方品質確認の点たと、本編の地震動についてがあると思いますが、
1:01:38	それぞれ何分ぐらいでできそうな。
1:01:41	見込みでしょうか。
1:01:48	わかんない。
1:01:49	その値段でございます。
1:01:51	掴み
1:01:56	ます。
1:01:57	すいません。
1:01:59	すいません規制庁ニシキですけど、ちょっとそのマイクはちょっとうまく聞こえないようです。
1:02:04	ちょっとそいつもあるんですかね。
1:02:08	話ピンでしゃべって。
1:02:11	中電力になってないですが、こちらのパイプはいかがでしょうか。
1:02:15	額成人式です。まだ聞き取りやすいのでお願いいたします。
1:02:20	こっちで、いや、
1:02:21	それも電力アマノです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:23	大丈夫でしょうか。
1:02:26	はい今聞こえております。
1:02:29	比率かける資料についてご説明の時間になります。一方で、
1:02:38	すいません規制庁ニシキですけど、何か天野さんの途中ぐらいから急に音声がおかしくなってしまうので、ちょっと他の方はなし。
1:02:48	代行化でちょっと、
1:02:51	回答いただけますでしょうか。
1:02:55	どうでしょうか。
1:02:57	聞こえますでしょうか。出てないですか。
1:03:00	今は大丈夫聞こえております。
1:03:02	それぞれ、
1:03:04	近づけ過ぎてて、
1:03:07	あればんだと思います。すいません。
1:03:10	地震動評価のですね、2000万円分
1:03:15	しっかり説明させていただくと、1時間ぐらいかかっちゃうかもしれません。規制庁ニシキですけども何か肝心なところら辺のちょうど音が割れてしまうので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:25	ちょっと聞き取れないところの品質保証のところもちょっと上手く聞かえてないところです。こちらとしましては、すみません再度お願いいたします。
1:03:35	仲川ですが、ちょっと今は、意義としてたのは、地震動評価の方はですねページ数も結構ありますので、ちゃんと説明しようとするか、
1:03:47	丁寧に説明しようとする1時間ぐらいなんですけど、
1:03:51	もう少し短めにした方がよろしいですかね。
1:04:00	規制庁ニシキです。
1:04:02	そうです。ちょっと60分長いかなというものもありますので先ほどの品質管理の方と合わせて60分ぐらいをめぐりということではいかがでしょうか。
1:04:15	全部電力アパートで承知しました。
1:04:18	はい。
1:04:19	そうした場合に地震動が50。
1:04:22	分の品質管理は品質確認の方10分ぐらいの目安ということで、こちらは理解しておけばよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:33	中部電力天野です。はい、そのように、対処いたします。
1:04:39	規制庁ニシキです。
1:04:41	はい。こちらの方確認いたしました。そのように進めていただければと思います。
1:05:14	成長認識です。
1:05:16	規制庁側から確認したいことは、以上になりまして、今、今日のヒアリングで出ましたコメントで追記等があります。
1:05:27	と思いますのでそのあたりを、
1:05:30	進めていただければと思います。
1:05:33	会合についてはまだちょっと、
1:05:36	調整とか必要ですけども4月上旬ぐらいかなというところで、
1:05:41	ひとまず、
1:05:42	できれば思ったりしてますので資料の修正っていうのはそのようなタイミングとかでも間に合うような感じでしょうか。
1:05:52	中部電力浜野です。はい。今日いただきました少し説明を。
1:05:57	もう少しわかりやすいというところの観点で追記をさせていただきますが、十分時間ありますので、円にして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:06	修正したいと思います。
1:06:09	規制庁認識ですそれではもう準備の方を十分時間あるということですのでよろしく願いいたします
1:06:18	それではヒアリングの方を終了したいと思います、中部電力の方が何かございますでしょうか。
1:06:27	瀬口赤間です。はい。こちらから確認事項はございません。
1:06:33	はい、規制庁ニシキです。
1:06:34	承知いたしましたそれでは本日のヒアリングの方を終了いたしたいと思います。お疲れ様でした。
1:06:41	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。